

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村	病院名	ページ
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市民病院	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	
				病院名	静岡がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m ²	指定病院の状況	が	特	
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	615	89.9	88.5	89.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	89.9	88.5	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.2	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,700,305	
決算規模(千円)	1,128,612,580	
標準財政規模(千円)	711,650,800	
財政力指数	0.72938	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	242.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.5
修正医業収益(千円)	29,909,568

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	37,461,470			
1 経常収益	37,456,483			
(1) 医業収益	30,044,962			
入院収益	14,211,772			
外来収益	15,052,976			
診療収入計	29,264,748			
その他医業収益	780,214			
(うち他会計負担金)	135,394			
(2) 医業外収益	7,411,521			
(うち国・都道府県補助金)	40,526			
(うち他会計補助・負担金)	6,270,580			
(うち長期前受金戻入)	206,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,987			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	37,463,264			
2 経常費用	37,339,847			
(1) 医業費用	33,796,699			
職員給与費	10,973,978	36.5	55.7	49.1
材料費	12,695,916	42.3	24.7	29.1
(うち薬品費)	10,213,156	34.0	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,482,760	8.3	11.0	12.7
減価償却費	2,473,719	8.2	9.0	8.4
経費	7,144,716	23.8	23.3	20.7
(うち委託料)	4,114,439	13.7	11.5	11.6
研究研修費	487,291			
資産減耗費	21,079			
(2) 医業外費用	3,543,148			
(うち支払利息)	576,228	1.9	1.4	1.2
(3) 特別損失	123,417			
損益				
経常損益	116,636			
純損益	-1,794			
累積欠損金	3,501,844			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	88.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	83.2		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,795,705
1 固定資産	49,253,067
(1) 有形固定資産	44,821,604
(2) 無形固定資産	194,853
(3) 投資その他の資産	4,236,610
2 流動資産	14,542,638
(1) 現金及び預金	8,878,216
(2) 未収金及び未収収益	5,100,611
(3) 貸倒引当金()	88,604
(4) 貯蔵品	487,609
3 繰延資産	-
負債合計	55,666,338
1 固定負債	44,572,455
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,423,544
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,148,911
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,002,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,084,676
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	767,277
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,786,966
(9) 前受金及び前受収益	44,333
3 繰延収益	2,091,330
(1) 長期前受金	5,834,324
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,742,994
資本合計	8,129,367
1 資本金	11,175,512
2 剰余金	-3,046,145
(1) 資本金剰余金	455,699
(2) 利益剰余金	-3,501,844
負債・資本合計	63,795,705
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,401,904	6,405,974
資本勘定繰入	2,070,389	181,216
計	8,472,293	6,587,190

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	静岡県
		市町村・組合名	
		病院名	想定企業会計(静岡県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,700,305	
決算規模(千円)	1,128,612,580	
標準財政規模(千円)	711,650,800	
財政力指数	0.72938	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	242.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	179,182			
1 経常収益	179,182			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	179,182			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	179,182			
2 経常費用	179,182			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	179,182			
(うち支払利息)	179,182	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	静岡県
		市町村・組合名	静岡市
		病院名	静岡市立静岡病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	704,989	
決算規模(千円)	313,612,705	
標準財政規模(千円)	187,789,105	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	48.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	62,000			
1 経常収益	62,000			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	62,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	62,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	62,000			
2 経常費用	62,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	62,000			
(うち支払利息)	62,000	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	62,000	62,000
資本勘定繰入	270,000	270,000
計	332,000	332,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	静岡市
				病院名	静岡市立清水病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	26	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	463	76.5	77.9	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	76.5	77.9	75.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	11.4	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	704,989	
決算規模(千円)	313,612,705	
標準財政規模(千円)	187,789,105	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	48.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.7
修正医業収益(千円)	8,998,928

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,663,669			
1 経常収益	12,663,669			
(1) 医業収益	9,616,193			
入院収益	6,376,857			
外来収益	2,347,848			
診療収入計	8,724,705			
その他医業収益	891,488			
(うち他会計負担金)	617,265			
(2) 医業外収益	3,047,476			
(うち国・都道府県補助金)	8,672			
(うち他会計補助・負担金)	2,930,852			
(うち長期前受金戻入)	14,034			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,658,261			
2 経常費用	12,658,261			
(1) 医業費用	12,041,930			
職員給与費	5,802,204	60.3	55.7	54.0
材料費	2,154,747	22.4	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,249,282	13.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	905,465	9.4	11.0	12.2
減価償却費	665,062	6.9	9.0	7.9
経費	3,314,469	34.5	23.3	19.2
(うち委託料)	1,219,624	12.7	11.5	9.3
研究研修費	59,186			
資産減耗費	46,262			
(2) 医業外費用	616,331			
(うち支払利息)	39,309	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,408			
純損益	5,408			
累積欠損金	1,309,157			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	79.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	28.0		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	36.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	72.0		85.7	89.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,057,729
1 固定資産	8,935,033
(1) 有形固定資産	8,373,364
(2) 無形固定資産	483
(3) 投資その他の資産	561,186
2 流動資産	3,122,696
(1) 現金及び預金	889,595
(2) 未収金及び未収収益	2,272,310
(3) 貸倒引当金()	110,059
(4) 貯蔵品	63,822
3 繰延資産	-
負債合計	7,054,088
1 固定負債	4,704,784
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,310,442
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,331,803
(7) リース債務	62,539
2 流動負債	2,130,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,383
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	399,783
(6) リース債務	139,934
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	900,483
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	218,458
(1) 長期前受金	701,506
(2) 長期前受金収益化累計額()	483,048
資本合計	5,003,641
1 資本金	6,137,674
2 剰余金	-1,134,033
(1) 資本剰余金	175,124
(2) 利益剰余金	-1,309,157
負債・資本合計	12,057,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,615,652	3,548,117
資本勘定繰入	401,112	63,000
計	2,016,764	3,611,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,182 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	600	84.4	86.4	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	3.1	-	-
計	606	83.6	85.6	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.4	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	797,980	
決算規模(千円)	349,574,500	
標準財政規模(千円)	213,100,289	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,712,606			
1 経常収益	2,712,606			
(1) 医業収益	273,364			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	273,364			
(うち他会計負担金)	273,364			
(2) 医業外収益	2,439,242			
(うち国・都道府県補助金)	71,850			
(うち他会計補助・負担金)	726,825			
(うち長期前受金戻入)	27,883			
(うち資本費繰入収益)	698,031			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,263,539			
2 経常費用	2,257,838			
(1) 医業費用	1,977,667			
職員給与費	10,546	3.9	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	992,936	363.2	9.0	8.4
経費	926,399	338.9	23.3	20.7
(うち委託料)	884,549	323.6	11.5	11.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	47,786	-	-	-
(2) 医業外費用	280,171			
(うち支払利息)	280,167	102.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	5,701			
損益				
経常損益	454,768			
純損益	449,067			
累積欠損金	-			
経常収支比率	120.1		97.7	98.8
医業収支比率	13.8		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	36.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	365.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	36.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	75.8		85.7	89.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,427,561
1 固定資産	26,345,275
(1) 有形固定資産	25,689,069
(2) 無形固定資産	6,077
(3) 投資その他の資産	650,129
2 流動資産	4,082,286
(1) 現金及び預金	2,788,753
(2) 未収金及び未収収益	1,285,509
(3) 貸倒引当金()	1,890
(4) 貯蔵品	9,814
3 繰延資産	-
負債合計	17,995,569
1 固定負債	14,380,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,045,133
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	267,676
(7) リース債務	67,871
2 流動負債	2,316,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,326,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,275
(6) リース債務	14,288
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	924,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,298,779
(1) 長期前受金	2,811,527
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,512,748
資本合計	12,431,992
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	8,791,999
(1) 資本金剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,670,743
負債・資本合計	30,427,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	550,189	1,000,189
資本勘定繰入	698,031	698,031
計	1,248,220	1,698,220

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松市リハビリテーション病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,397 m ²	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	180	94.4	94.5	94.5
療養	45	95.6	96.6	96.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	94.7	94.9	94.8
平均在院日数(一般病床のみ)		47.4	46.1	48.5

設立団体の状況		
人口(人)	797,980	
決算規模(千円)	349,574,500	
標準財政規模(千円)	213,100,289	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,802,504			
1 経常収益	3,794,338			
(1) 医業収益	3,375,742			
入院収益	2,947,802			
外来収益	312,129			
診療収入計	3,259,931			
その他医業収益	115,811			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	418,596			
(うち国・都道府県補助金)	412			
(うち他会計補助・負担金)	276,337			
(うち長期前受金戻入)	87,745			
(うち資本費繰入収益)	40,549			
(3) 特別利益	8,166			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,783,867			
2 経常費用	3,776,316			
(1) 医業費用	3,699,408			
職員給与費	6,793	0.2	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	265,159	7.9	9.0	9.9
経費	3,427,024	101.5	23.3	27.7
(うち委託料)	3,406,411	100.9	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	432			
(2) 医業外費用	76,908			
(うち支払利息)	76,479	2.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	7,551			
損益				
経常損益	18,022			
純損益	18,637			
累積欠損金	274,375			
経常収支比率	100.5		97.7	96.3
医業収支比率	91.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	93.2		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,427,561
1 固定資産	26,345,275
(1) 有形固定資産	25,689,069
(2) 無形固定資産	6,077
(3) 投資その他の資産	650,129
2 流動資産	4,082,286
(1) 現金及び預金	2,788,753
(2) 未収金及び未収収益	1,285,509
(3) 貸倒引当金()	1,890
(4) 貯蔵品	9,814
3 繰延資産	-
負債合計	17,995,569
1 固定負債	14,380,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,045,133
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	267,676
(7) リース債務	67,871
2 流動負債	2,316,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,326,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,275
(6) リース債務	14,288
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	924,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,298,779
(1) 長期前受金	2,811,527
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,512,748
資本合計	12,431,992
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	8,791,999
(1) 資本金剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,670,743
負債・資本合計	30,427,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収益(千円)	3,375,742

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,337	276,337
資本勘定繰入	125,275	125,275
計	401,612	401,612

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,517 m ²	指定病院の状況	救感へ		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	36	85.1	75.6	84.3
療養	20	74.9	69.3	65.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	60	76.0	68.5	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	19.1	22.5

設立団体の状況		
人口(人)	797,980	
決算規模(千円)	349,574,500	
標準財政規模(千円)	213,100,289	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.3
修正医業収益(千円)	614,006

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,202,084			
1 経常収益	1,202,003			
(1) 医業収益	655,391			
入院収益	350,810			
外来収益	230,793			
診療収入計	581,603			
その他医業収益	73,788			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	546,612			
(うち国・都道府県補助金)	581			
(うち他会計補助・負担金)	487,564			
(うち長期前受金戻入)	35,916			
(うち資本費繰入収益)	19,333			
(3) 特別利益	81			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,248,860			
2 経常費用	1,246,850			
(1) 医業費用	1,195,968			
職員給与費	629,733	96.1	55.7	72.6
材料費	140,853	21.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	95,360	14.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,307	5.1	11.0	5.6
減価償却費	72,913	11.1	9.0	11.1
経費	350,195	53.4	23.3	31.9
(うち委託料)	123,277	18.8	11.5	13.0
研究研修費	1,203			
資産減耗費	1,071			
(2) 医業外費用	50,882			
(うち支払利息)	6,829	1.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	2,010			
損益				
経常損益	-44,847			
純損益	-46,776			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.4		97.7	97.4
医業収支比率	54.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	44.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	80.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	44.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	54.0		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,427,561
1 固定資産	26,345,275
(1) 有形固定資産	25,689,069
(2) 無形固定資産	6,077
(3) 投資その他の資産	650,129
2 流動資産	4,082,286
(1) 現金及び預金	2,788,753
(2) 未収金及び未収収益	1,285,509
(3) 貸倒引当金()	1,890
(4) 貯蔵品	9,814
3 繰延資産	-
負債合計	17,995,569
1 固定負債	14,380,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,045,133
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	267,676
(7) リース債務	67,871
2 流動負債	2,316,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,326,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,275
(6) リース債務	14,288
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	924,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,298,779
(1) 長期前受金	2,811,527
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,512,748
資本合計	12,431,992
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	8,791,999
(1) 資本金剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,670,743
負債・資本合計	30,427,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	504,075	528,949
資本勘定繰入	44,037	55,379
計	548,112	584,328

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	沼津市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	387	73.6	71.7	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	73.6	71.7	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.7	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	195,633	
決算規模(千円)	72,380,917	
標準財政規模(千円)	40,478,374	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	30.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.1
修正医業収益(千円)	9,033,839

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,165,090			
1 経常収益	11,165,090			
(1) 医業収益	9,611,839			
入院収益	6,452,971			
外来収益	2,444,136			
診療収入計	8,897,107			
その他医業収益	714,732			
(うち他会計負担金)	578,000			
(2) 医業外収益	1,553,251			
(うち国・都道府県補助金)	45,717			
(うち他会計補助・負担金)	1,272,000			
(うち長期前受金戻入)	57,922			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,087,062			
2 経常費用	11,087,062			
(1) 医業費用	10,621,494			
職員給与費	5,514,687	57.4	55.7	57.0
材料費	2,365,272	24.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	951,330	9.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,410,147	14.7	11.0	11.3
減価償却費	665,989	6.9	9.0	9.3
経費	2,034,329	21.2	23.3	22.1
(うち委託料)	980,542	10.2	11.5	11.1
研究研修費	24,077			
資産減耗費	17,140			
(2) 医業外費用	465,568			
(うち支払利息)	26,063	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	78,028			
純損益	78,028			
累積欠損金	5,766,635			
経常収支比率	100.7		97.7	96.4
医業収支比率	90.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	84.0		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,571,760
1 固定資産	8,922,829
(1) 有形固定資産	8,762,053
(2) 無形固定資産	103,296
(3) 投資その他の資産	57,480
2 流動資産	1,648,931
(1) 現金及び預金	59,272
(2) 未収金及び未収収益	1,569,807
(3) 貸倒引当金()	30,059
(4) 貯蔵品	27,768
3 繰延資産	-
負債合計	6,499,503
1 固定負債	4,310,346
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,232,438
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,077,908
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,918,664
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	595,287
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	295,046
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	980,749
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	270,493
(1) 長期前受金	1,060,895
(2) 長期前受金収益化累計額()	790,402
資本合計	4,072,257
1 資本金	9,838,892
2 剰余金	-5,766,635
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,766,635
負債・資本合計	10,571,760
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,000	1,850,000
資本勘定繰入	200,000	200,000
計	1,500,000	2,050,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	60,049	0.6
平成29年度	197,881	2.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	富士宮市
	病院名	富士宮市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,314 m ²	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	14	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	380	68.4	71.7	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	68.4	71.7	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	11.6	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	130,770	
決算規模(千円)	50,746,141	
標準財政規模(千円)	26,335,129	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.4
	将来負担比率(%)	13.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,301,288			
1 経常収益	9,301,288			
(1) 医業収益	8,427,605			
入院収益	4,844,947			
外来収益	3,098,513			
診療収入計	7,943,460			
その他医業収益	484,145			
(うち他会計負担金)	345,015			
(2) 医業外収益	873,683			
(うち国・都道府県補助金)	10,042			
(うち他会計補助・負担金)	804,566			
(うち長期前受金戻入)	5,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,170,557			
2 経常費用	10,149,677			
(1) 医業費用	9,699,508			
職員給与費	5,064,562	60.1	55.7	57.0
材料費	2,575,792	30.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,722,185	20.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	853,046	10.1	11.0	11.3
減価償却費	680,761	8.1	9.0	9.3
経費	1,250,484	14.8	23.3	22.1
(うち委託料)	749,187	8.9	11.5	11.1
研究研修費	22,199			
資産減耗費	105,710			
(2) 医業外費用	450,169			
(うち支払利息)	5,222	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	20,880			
損益				
経常損益	-848,389			
純損益	-869,269			
累積欠損金	4,478,086			
経常収支比率	91.6		97.7	96.4
医業収支比率	86.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	80.3		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,923,067
1 固定資産	8,229,769
(1) 有形固定資産	8,093,377
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	133,740
2 流動資産	1,693,298
(1) 現金及び預金	356,491
(2) 未収金及び未収収益	1,300,663
(3) 貸倒引当金()	7,402
(4) 貯蔵品	36,180
3 繰延資産	-
負債合計	3,160,299
1 固定負債	1,805,005
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,635,627
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	169,378
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,242,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	212,502
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	293,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	692,651
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	112,335
(1) 長期前受金	275,438
(2) 長期前受金収益化累計額()	163,103
資本合計	6,762,768
1 資本金	10,927,142
2 剰余金	-4,164,374
(1) 資本金剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-4,478,086
負債・資本合計	9,923,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	8,082,590

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,149,581	1,149,581
資本勘定繰入	250,419	250,419
計	1,400,000	1,400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	伊東市
	病院名	伊東市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,628 m ²	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	20	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	78.2	78.6	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	78.2	78.6	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	16.1	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	68,345	
決算規模(千円)	27,300,743	
標準財政規模(千円)	15,312,861	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	11.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	455,172			
1 経常収益	455,172			
(1) 医業収益	55,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	400,172			
(うち国・都道府県補助金)	9,569			
(うち他会計補助・負担金)	267,777			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	563,593			
2 経常費用	563,593			
(1) 医業費用	509,276			
職員給与費	14,901	27.1	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	190,766	346.8	9.0	9.9
経費	241,323	438.8	23.3	27.7
(うち委託料)	102,738	186.8	11.5	12.4
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	62,286	-	-	-
(2) 医業外費用	54,317			
(うち支払利息)	54,317	98.8	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-108,421			
純損益	-108,421			
累積欠損金	1,137,278			
経常収支比率	80.8		97.7	96.3
医業収支比率	10.8		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	70.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	586.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	70.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	23.5		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,627,676
1 固定資産	5,198,475
(1) 有形固定資産	4,977,160
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	221,315
2 流動資産	1,429,201
(1) 現金及び預金	1,407,957
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,146,531
1 固定負債	3,375,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,375,667
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	230,833
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,388
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,806
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	540,031
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額()	104,124
資本合計	2,481,145
1 資本金	3,357,863
2 剰余金	-876,718
(1) 資本金剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-1,137,278
負債・資本合計	6,627,676
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	82,456	322,777
資本勘定繰入	80,223	80,223
計	162,679	403,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2067.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	島田市
				病院名	島田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,894 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	467	76.0	78.5	84.9
療養	35	40.9	63.1	73.0
結核	8	0.1	2.1	12.7
精神	20	-	-	-
感染症	6	1.7	-	-
計	536	68.9	72.5	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	14.9	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	98,112	
決算規模(千円)	40,648,503	
標準財政規模(千円)	22,054,696	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.1
修正医業収益(千円)	10,836,833

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,761,472			
1 経常収益	11,761,472			
(1) 医業収益	10,939,748			
入院収益	6,672,230			
外来収益	3,829,756			
診療収入計	10,501,986			
その他医業収益	437,762			
(うち他会計負担金)	102,915			
(2) 医業外収益	821,724			
(うち国・都道府県補助金)	27,085			
(うち他会計補助・負担金)	598,807			
(うち長期前受金戻入)	12,544			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,936,514			
2 経常費用	12,936,514			
(1) 医業費用	12,165,793			
職員給与費	6,693,332	61.2	55.7	49.1
材料費	3,075,706	28.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,816,790	16.6	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,255,676	11.5	11.0	12.7
減価償却費	750,828	6.9	9.0	8.4
経費	1,589,162	14.5	23.3	20.7
(うち委託料)	891,222	8.1	11.5	11.6
研究研修費	49,486			
資産減耗費	7,279			
(2) 医業外費用	770,721			
(うち支払利息)	22,018	0.2	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,175,042			
純損益	-1,175,042			
累積欠損金	9,534,243			
経常収支比率	90.9		97.7	98.8
医業収支比率	89.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	85.5		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,205,103
1 固定資産	12,688,813
(1) 有形固定資産	12,301,618
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	382,759
2 流動資産	6,516,290
(1) 現金及び預金	3,840,798
(2) 未収金及び未収収益	2,592,689
(3) 貸倒引当金()	14,420
(4) 貯蔵品	94,281
3 繰延資産	-
負債合計	10,669,583
1 固定負債	6,834,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,084,504
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,743,405
(7) リース債務	6,998
2 流動負債	3,686,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	465,505
(6) リース債務	1,995
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,805,094
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	147,768
(1) 長期前受金	667,191
(2) 長期前受金収益化累計額()	519,423
資本合計	8,535,520
1 資本金	18,031,379
2 剰余金	-9,495,859
(1) 資本金剰余金	37,614
(2) 利益剰余金	-9,533,473
負債・資本合計	19,205,103
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	701,722	701,722
資本勘定繰入	856,847	856,847
計	1,558,569	1,558,569

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	富士市
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,989 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	504	83.4	86.7	87.5
療養	-	-	-	-
結核	10	16.1	6.5	6.0
精神	-	-	-	-
感染症	6	2.3	-	-
計	520	81.2	84.2	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.8	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	248,399	
決算規模(千円)	97,181,059	
標準財政規模(千円)	50,084,394	
財政力指数	1.01	
経常収支比率(%)	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	60.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.1
修正医業収益(千円)	12,767,330

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,677,172			
1 経常収益	14,677,172			
(1) 医業収益	13,092,982			
入院収益	9,019,363			
外来収益	3,556,161			
診療収入計	12,575,524			
その他医業収益	517,458			
(うち他会計負担金)	325,652			
(2) 医業外収益	1,584,190			
(うち国・都道府県補助金)	51,765			
(うち他会計補助・負担金)	1,348,468			
(うち長期前受金戻入)	20,333			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,891,609			
2 経常費用	14,891,609			
(1) 医業費用	14,334,791			
職員給与費	7,994,198	61.1	55.7	49.1
材料費	3,581,126	27.4	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,069,475	15.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,511,651	11.5	11.0	12.7
減価償却費	698,954	5.3	9.0	8.4
経費	2,003,872	15.3	23.3	20.7
(うち委託料)	1,162,740	8.9	11.5	11.6
研究研修費	47,087			
資産減耗費	9,554			
(2) 医業外費用	556,818			
(うち支払利息)	13,146	0.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-214,437			
純損益	-214,437			
累積欠損金	4,736,189			
経常収支比率	98.6		97.7	98.8
医業収支比率	91.3		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	87.3		85.7	89.9

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,553,541
1 固定資産	6,994,393
(1) 有形固定資産	6,986,834
(2) 無形固定資産	7,539
(3) 投資その他の資産	20
2 流動資産	3,559,148
(1) 現金及び預金	1,513,909
(2) 未収金及び未収収益	2,015,068
(3) 貸倒引当金()	25,248
(4) 貯蔵品	37,005
3 繰延資産	-
負債合計	7,281,151
1 固定負債	4,486,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,511,418
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,975,527
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,525,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	669,427
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	442,433
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,363,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	268,946
(1) 長期前受金	1,061,239
(2) 長期前受金収益化累計額()	792,293
資本合計	3,272,390
1 資本金	7,395,889
2 剰余金	-4,123,499
(1) 資本金剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	-4,452,589
負債・資本合計	10,553,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,357,250	1,674,120
資本勘定繰入	214,295	214,295
計	1,571,545	1,888,415

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	磐田市
				病院名	磐田市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,474 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	498	88.4	88.2	89.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	500	88.1	87.9	89.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.5	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	167,210	
決算規模(千円)	65,501,065	
標準財政規模(千円)	38,285,303	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	0.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収益(千円)	15,732,604

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,714,702			
1 経常収益	16,547,450			
(1) 医業収益	15,987,403			
入院収益	10,179,363			
外来収益	4,925,944			
診療収入計	15,105,307			
その他医業収益	882,096			
(うち他会計負担金)	254,799			
(2) 医業外収益	560,047			
(うち国・都道府県補助金)	56,485			
(うち他会計補助・負担金)	360,714			
(うち長期前受金戻入)	40,563			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	167,252			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,268,731			
2 経常費用	17,156,440			
(1) 医業費用	16,301,306			
職員給与費	8,691,689	54.4	55.7	49.1
材料費	3,653,163	22.9	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,072,869	13.0	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,577,554	9.9	11.0	12.7
減価償却費	919,364	5.8	9.0	8.4
経費	2,964,454	18.5	23.3	20.7
(うち委託料)	1,751,434	11.0	11.5	11.6
研究研修費	59,802			
資産減耗費	12,834			
(2) 医業外費用	855,134			
(うち支払利息)	231,611	1.4	1.4	1.2
(3) 特別損失	112,291			
損益				
経常損益	-608,990			
純損益	-554,029			
累積欠損金	15,534,466			
経常収支比率	96.5		97.7	98.8
医業収支比率	98.1		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	3.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	92.9		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,893,529
1 固定資産	13,550,623
(1) 有形固定資産	13,295,113
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	250,863
2 流動資産	3,342,906
(1) 現金及び預金	811,663
(2) 未収金及び未収収益	2,469,877
(3) 貸倒引当金()	16,564
(4) 貯蔵品	77,930
3 繰延資産	-
負債合計	14,319,983
1 固定負債	10,463,836
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,175,836
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,288,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,083,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,541,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	486,284
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,055,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	772,485
(1) 長期前受金	1,823,660
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,051,175
資本合計	2,573,546
1 資本金	18,108,012
2 剰余金	-15,534,466
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,534,466
負債・資本合計	16,893,529
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,198,255	615,513
資本勘定繰入	929,341	853,097
計	2,127,596	1,468,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	焼津市
				病院名	焼津市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	471	81.2	83.8	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	471	81.2	83.8	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.1	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	139,462	
決算規模(千円)	53,665,464	
標準財政規模(千円)	27,291,124	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	7.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.0
修正医業収益(千円)	11,087,083

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,507,319			
1 経常収益	12,507,319			
(1) 医業収益	11,443,776			
入院収益	7,701,269			
外来収益	3,098,700			
診療収入計	10,799,969			
その他医業収益	643,807			
(うち他会計負担金)	356,693			
(2) 医業外収益	1,063,543			
(うち国・都道府県補助金)	44,976			
(うち他会計補助・負担金)	639,371			
(うち長期前受金戻入)	40,337			
(うち資本費繰入収益)	247,629			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,005,590			
2 経常費用	13,005,590			
(1) 医業費用	12,456,323			
職員給与費	7,275,669	63.6	55.7	54.0
材料費	2,557,035	22.3	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,359,563	11.9	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,125,258	9.8	11.0	12.2
減価償却費	650,638	5.7	9.0	7.9
経費	1,910,883	16.7	23.3	19.2
(うち委託料)	950,063	8.3	11.5	9.3
研究研修費	41,064			
資産減耗費	21,034			
(2) 医業外費用	549,267			
(うち支払利息)	11,010	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-498,271			
純損益	-498,271			
累積欠損金	8,883,908			
経常収支比率	96.2		97.7	98.8
医業収支比率	91.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	88.5		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,009,033
1 固定資産	7,551,387
(1) 有形固定資産	6,991,176
(2) 無形固定資産	9,691
(3) 投資その他の資産	550,520
2 流動資産	4,457,646
(1) 現金及び預金	2,507,566
(2) 未収金及び未収収益	1,907,072
(3) 貸倒引当金()	4,990
(4) 貯蔵品	47,998
3 繰延資産	-
負債合計	8,194,807
1 固定負債	5,432,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,148,035
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,284,885
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,400,933
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	734,142
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	435,734
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,171,927
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	360,954
(1) 長期前受金	1,039,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	678,842
資本合計	3,814,226
1 資本金	12,688,777
2 剰余金	-8,874,551
(1) 資本剰余金	9,357
(2) 利益剰余金	-8,883,908
負債・資本合計	12,009,033
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	896,544	996,064
資本勘定繰入	289,690	339,690
計	1,186,234	1,335,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	藤枝市
				病院名	藤枝市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,358 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	35	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	564	78.9	84.2	85.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	78.9	84.2	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.3	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	143,605	
決算規模(千円)	50,656,091	
標準財政規模(千円)	28,390,382	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	2.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.0
修正医業収益(千円)	16,850,186

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,361,576			
1 経常収益	18,361,576			
(1) 医業収益	17,499,086			
入院収益	10,112,109			
外来収益	6,342,958			
診療収入計	16,455,067			
その他医業収益	1,044,019			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	862,490			
(うち国・都道府県補助金)	61,448			
(うち他会計補助・負担金)	671,100			
(うち長期前受金戻入)	54,884			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,355,270			
2 経常費用	18,355,270			
(1) 医業費用	17,200,744			
職員給与費	9,007,888	51.5	55.7	49.1
材料費	4,952,890	28.3	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,470,845	19.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,393,237	8.0	11.0	12.7
減価償却費	845,168	4.8	9.0	8.4
経費	2,313,492	13.2	23.3	20.7
(うち委託料)	1,449,214	8.3	11.5	11.6
研究研修費	52,707			
資産減耗費	28,599			
(2) 医業外費用	1,154,526			
(うち支払利息)	272,529	1.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,306			
純損益	6,306			
累積欠損金	15,636,448			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	101.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	92.8		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,330,763
1 固定資産	14,095,973
(1) 有形固定資産	13,583,249
(2) 無形固定資産	8,246
(3) 投資その他の資産	504,478
2 流動資産	3,234,790
(1) 現金及び預金	289,550
(2) 未収金及び未収収益	2,876,546
(3) 貸倒引当金()	3,650
(4) 貯蔵品	70,674
3 繰延資産	-
負債合計	14,538,552
1 固定負債	9,986,112
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,647,908
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,820,000
(6) 引当金	2,501,856
(7) リース債務	16,348
2 流動負債	3,742,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,347,703
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	558,275
(6) リース債務	50,338
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	1,556,032
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	810,289
(1) 長期前受金	2,467,219
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,656,930
資本合計	2,792,211
1 資本金	18,420,263
2 剰余金	-15,628,052
(1) 資本金剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-15,636,448
負債・資本合計	17,330,763
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,478,300	1,320,000
資本勘定繰入	879,700	634,000
計	2,358,000	1,954,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	静岡県
		市町村・組合名	袋井市
		病院名	袋井市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	85,789	
決算規模(千円)	35,223,976	
標準財政規模(千円)	19,359,100	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	56.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	袋井市
				病院名	聖隷袋井市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,399 m ²	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	82.5	78.2	74.0
療養	50	84.4	86.7	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	83.1	81.1	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		48.1	45.9	50.1

設立団体の状況		
人口(人)	85,789	
決算規模(千円)	35,223,976	
標準財政規模(千円)	19,359,100	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	56.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,688,069			
1 経常収益	1,688,069			
(1) 医業収益	1,353,383			
入院収益	1,205,309			
外来収益	96,530			
診療収入計	1,301,839			
その他医業収益	51,544			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	334,686			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	279,513			
(うち長期前受金戻入)	9,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,673,244			
2 経常費用	1,671,134			
(1) 医業費用	1,654,242			
職員給与費	7,027	0.5	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	105,444	7.8	9.0	10.2
経費	1,541,564	113.9	23.3	30.5
(うち委託料)	20,420	1.5	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	207	-	-	-
(2) 医業外費用	16,892	-	-	-
(うち支払利息)	2,059	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,110	-	-	-
損益				
経常損益	16,935			
純損益	14,825			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		97.7	96.5
医業収支比率	81.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.3		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,587,842
1 固定資産	1,276,654
(1) 有形固定資産	1,206,536
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	70,118
2 流動資産	311,188
(1) 現金及び預金	100,947
(2) 未収金及び未収収益	214,741
(3) 貸倒引当金()	4,500
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,186,220
1 固定負債	660,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	658,400
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,378
(7) リース債務	-
2 流動負債	296,198
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,450
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	125,971
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	229,244
(1) 長期前受金	296,087
(2) 長期前受金収益化累計額()	66,843
資本合計	401,622
1 資本金	265,000
2 剰余金	136,622
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	136,622
負債・資本合計	1,587,842
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.8
修正医業収益(千円)	1,353,383

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,030	279,513
資本勘定繰入	85,492	70,000
計	86,522	349,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	湖西市
				病院名	市立湖西病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,962 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	196	34.8	36.5	38.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	34.8	36.5	38.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.0	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	59,789	
決算規模(千円)	21,722,107	
標準財政規模(千円)	13,668,344	
財政力指数	1.04	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	19.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.7
修正医業収益(千円)	2,261,931

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,265,609			
1 経常収益	3,239,653			
(1) 医業収益	2,436,022			
入院収益	944,966			
外来収益	996,667			
診療収入計	1,941,633			
その他医業収益	494,389			
(うち他会計負担金)	174,091			
(2) 医業外収益	803,631			
(うち国・都道府県補助金)	161			
(うち他会計補助・負担金)	701,918			
(うち長期前受金戻入)	90,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,956			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,104,921			
2 経常費用	3,101,809			
(1) 医業費用	2,987,631			
職員給与費	1,502,852	61.7	55.7	61.3
材料費	380,747	15.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	204,941	8.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	175,339	7.2	11.0	8.2
減価償却費	196,205	8.1	9.0	10.2
経費	897,789	36.9	23.3	30.5
(うち委託料)	407,537	16.7	11.5	13.0
研究研修費	3,940			
資産減耗費	6,098			
(2) 医業外費用	114,178			
(うち支払利息)	7,085	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,112			
損益				
経常損益	137,844			
純損益	160,688			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.4		97.7	96.5
医業収支比率	81.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	76.2		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,075,425
1 固定資産	3,347,348
(1) 有形固定資産	3,310,149
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	37,199
2 流動資産	728,077
(1) 現金及び預金	388,960
(2) 未収金及び未収収益	311,608
(3) 貸倒引当金()	1,207
(4) 貯蔵品	25,111
3 繰延資産	-
負債合計	1,938,830
1 固定負債	583,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	520,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,437
(7) リース債務	13,861
2 流動負債	409,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	110,525
(6) リース債務	33,569
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	149,541
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	946,132
(1) 長期前受金	2,993,209
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,047,077
資本合計	2,136,595
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	514,272
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	514,272
負債・資本合計	4,075,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	346,009	876,009
資本勘定繰入	59,509	59,509
計	405,518	935,518

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	御前崎市
				病院名	市立御前崎総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	15	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	145	77.7	75.4	68.1
療養	54	87.9	87.7	89.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	80.5	78.7	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	33.5	28.2

設立団体の状況		
人口(人)	32,578	
決算規模(千円)	18,531,647	
標準財政規模(千円)	8,775,239	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.0
修正医業収益(千円)	3,548,794

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,137,792			
1 経常収益	5,136,168			
(1) 医業収益	3,633,894			
入院収益	2,006,142			
外来収益	1,272,370			
診療収入計	3,278,512			
その他医業収益	355,382			
(うち他会計負担金)	85,100			
(2) 医業外収益	1,502,274			
(うち国・都道府県補助金)	1,728			
(うち他会計補助・負担金)	1,040,908			
(うち長期前受金戻入)	119,584			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,624			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,308,168			
2 経常費用	5,291,232			
(1) 医業費用	4,669,000			
職員給与費	2,463,729	67.8	55.7	61.3
材料費	671,707	18.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	438,466	12.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	231,970	6.4	11.0	8.2
減価償却費	472,284	13.0	9.0	10.2
経費	1,037,543	28.6	23.3	30.5
(うち委託料)	567,278	15.6	11.5	13.0
研究研修費	22,023			
資産減耗費	1,714			
(2) 医業外費用	622,232			
(うち支払利息)	2,108	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	16,936			
損益				
経常損益	-155,064			
純損益	-170,376			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.1		97.7	96.5
医業収支比率	77.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	75.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,341,851
1 固定資産	5,252,243
(1) 有形固定資産	5,029,782
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	222,461
2 流動資産	2,089,608
(1) 現金及び預金	1,324,022
(2) 未収金及び未収収益	682,137
(3) 貸倒引当金()	5,307
(4) 貯蔵品	84,682
3 繰延資産	-
負債合計	2,655,386
1 固定負債	642,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	566,080
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	76,676
(7) リース債務	-
2 流動負債	522,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,120
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	167,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	254,653
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,490,549
(1) 長期前受金	4,834,864
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,344,315
資本合計	4,686,465
1 資本金	4,367,660
2 剰余金	318,805
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	318,805
負債・資本合計	7,341,851
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	362,340	1,126,008
資本勘定繰入	8,240	8,240
計	370,580	1,134,248

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	菊川市
				病院名	菊川市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	202	78.0	80.0	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	55.9	55.0	52.3
感染症	-	-	-	-
計	260	73.1	74.4	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.2	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	46,763	
決算規模(千円)	20,184,639	
標準財政規模(千円)	11,292,431	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	8.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.4
修正医業収益(千円)	4,529,897

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,438,989			
1 経常収益	5,438,989			
(1) 医業収益	4,705,299			
入院収益	2,968,666			
外来収益	1,266,756			
診療収入計	4,235,422			
その他医業収益	469,877			
(うち他会計負担金)	175,402			
(2) 医業外収益	733,690			
(うち国・都道府県補助金)	3,436			
(うち他会計補助・負担金)	659,957			
(うち長期前受金戻入)	29,261			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,552,846			
2 経常費用	5,532,982			
(1) 医業費用	5,240,327			
職員給与費	3,091,931	65.7	55.7	59.8
材料費	726,508	15.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	295,387	6.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	387,151	8.2	11.0	9.2
減価償却費	308,207	6.6	9.0	9.9
経費	1,082,187	23.0	23.3	27.7
(うち委託料)	622,141	13.2	11.5	12.4
研究研修費	20,342			
資産減耗費	11,152			
(2) 医業外費用	292,655			
(うち支払利息)	87,808	1.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	19,864			
損益				
経常損益	-93,993			
純損益	-113,857			
累積欠損金	4,027,448			
経常収支比率	98.3		97.7	96.3
医業収支比率	89.8		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	15.4		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	83.2		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,300,459
1 固定資産	5,573,673
(1) 有形固定資産	5,427,463
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	146,210
2 流動資産	726,786
(1) 現金及び預金	33,608
(2) 未収金及び未収収益	675,155
(3) 貸倒引当金()	1,562
(4) 貯蔵品	19,583
3 繰延資産	-
負債合計	5,308,423
1 固定負債	3,474,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,408,301
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	63,537
(7) リース債務	3,007
2 流動負債	1,267,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	647,239
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	185,350
(6) リース債務	874
(7) 一時借入金	191,000
(8) 未払金及び未払費用	243,267
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	565,848
(1) 長期前受金	1,247,553
(2) 長期前受金収益化累計額()	681,705
資本合計	992,036
1 資本金	5,019,484
2 剰余金	-4,027,448
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,027,448
負債・資本合計	6,300,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	658,477	835,359
資本勘定繰入	377,892	251,104
計	1,036,369	1,086,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	森町
	病院名	公立森町病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	131	85.6	84.7	90.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	85.6	84.7	90.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	25.7	27.9

設立団体の状況		
人口(人)	18,528	
決算規模(千円)	8,222,156	
標準財政規模(千円)	5,140,300	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	58.6

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,766 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.3
修正医業収益(千円)	2,392,259

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,848,753			
1 経常収益	2,842,183			
(1) 医業収益	2,396,805			
入院収益	1,533,594			
外来収益	696,513			
診療収入計	2,230,107			
その他医業収益	166,698			
(うち他会計負担金)	4,546			
(2) 医業外収益	445,378			
(うち国・都道府県補助金)	732			
(うち他会計補助・負担金)	339,125			
(うち長期前受金戻入)	15,013			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,570			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,786,639			
2 経常費用	2,777,319			
(1) 医業費用	2,564,048			
職員給与費	1,584,777	66.1	55.7	61.3
材料費	244,442	10.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	135,562	5.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,880	4.5	11.0	8.2
減価償却費	117,693	4.9	9.0	10.2
経費	603,150	25.2	23.3	30.5
(うち委託料)	350,711	14.6	11.5	13.0
研究研修費	5,721			
資産減耗費	8,265			
(2) 医業外費用	213,271			
(うち支払利息)	52,192	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	9,320			
損益				
経常損益	64,864			
純損益	62,114			
累積欠損金	3,000,896			
経常収支比率	102.3		97.7	96.5
医業収支比率	93.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.0		85.7	80.7

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,601,462
1 固定資産	3,068,692
(1) 有形固定資産	3,067,984
(2) 無形固定資産	708
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	532,770
(1) 現金及び預金	119,992
(2) 未収金及び未収収益	407,257
(3) 貸倒引当金()	3,686
(4) 貯蔵品	9,207
3 繰延資産	-
負債合計	2,677,058
1 固定負債	1,760,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,724,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	35,416
(7) リース債務	-
2 流動負債	513,789
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	278,138
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,135
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	108,472
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	403,016
(1) 長期前受金	711,745
(2) 長期前受金収益化累計額()	308,729
資本合計	924,404
1 資本金	3,925,300
2 剰余金	-3,000,896
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,000,896
負債・資本合計	3,601,462
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,011	343,671
資本勘定繰入	156,572	156,329
計	423,583	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	125.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)
				病院名	共立蒲原総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,651 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	175	64.2	66.3	62.9
療養	92	98.2	97.0	98.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	75.9	76.9	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.9	12.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収益(千円)	3,452,012

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,208,818			
1 経常収益	5,208,818			
(1) 医業収益	3,683,806			
入院収益	2,398,676			
外来収益	981,137			
診療収入計	3,379,813			
その他医業収益	303,993			
(うち他会計負担金)	231,794			
(2) 医業外収益	1,525,012			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	773,155			
(うち長期前受金戻入)	21,772			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,208,818			
2 経常費用	5,208,818			
(1) 医業費用	4,258,610			
職員給与費	2,786,930	75.7	55.7	59.8
材料費	470,835	12.8	24.7	19.0
(うち薬品費)	223,489	6.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	247,346	6.7	11.0	9.2
減価償却費	391,816	10.6	9.0	9.9
経費	597,672	16.2	23.3	27.7
(うち委託料)	333,789	9.1	11.5	12.4
研究研修費	10,379			
資産減耗費	978			
(2) 医業外費用	950,208			
(うち支払利息)	44,088	1.2	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	86.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	80.7		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,291,823
1 固定資産	4,688,282
(1) 有形固定資産	4,363,520
(2) 無形固定資産	251,922
(3) 投資その他の資産	72,840
2 流動資産	1,603,541
(1) 現金及び預金	582,268
(2) 未収金及び未収収益	986,983
(3) 貸倒引当金()	1,441
(4) 貯蔵品	33,383
3 繰延資産	-
負債合計	2,306,978
1 固定負債	1,273,954
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,271,412
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,542
2 流動負債	735,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	316,303
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	200,110
(6) リース債務	2,209
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	186,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	297,704
(1) 長期前受金	1,313,977
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,016,273
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,315
2 剰余金	118,530
(1) 資本金剰余金	35,530
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	6,291,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	642,618	1,004,949
資本勘定繰入	177,688	-
計	820,306	1,004,949

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)
				病院名	榛原総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,565 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	24	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	355	51.7	50.2	41.1
療養	42	98.4	99.5	100.1
結核	-	-	-	-
精神	53	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	50.0	48.9	41.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.2	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収益(千円)	21,009

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,049,717			
1 経常収益	1,049,717			
(1) 医業収益	149,188			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	149,188			
(うち他会計負担金)	128,179			
(2) 医業外収益	900,529			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	702,952			
(うち長期前受金戻入)	58,724			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,267,343			
2 経常費用	1,267,343			
(1) 医業費用	1,011,608			
職員給与費	28,377	19.0	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	470,521	315.4	9.0	7.9
経費	497,814	333.7	23.3	19.2
(うち委託料)	52,928	35.5	11.5	9.3
研究研修費	281			
資産減耗費	14,615			
(2) 医業外費用	255,735			
(うち支払利息)	168,435	112.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-217,626			
純損益	-217,626			
累積欠損金	13,578,579			
経常収支比率	82.8		97.7	98.8
医業収支比率	14.7		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	79.2		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	557.1		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	79.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	17.2		85.7	89.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,390,814
1 固定資産	8,022,237
(1) 有形固定資産	7,821,590
(2) 無形固定資産	4,894
(3) 投資その他の資産	195,753
2 流動資産	368,577
(1) 現金及び預金	350,757
(2) 未収金及び未収収益	14,820
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,875,299
1 固定負債	7,606,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,083,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	523,120
2 流動負債	601,898
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,236
(6) リース債務	30,947
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,321
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	667,070
(1) 長期前受金	2,441,185
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,774,115
資本合計	-484,485
1 資本金	13,054,019
2 剰余金	-13,538,504
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-13,578,579
負債・資本合計	8,390,814
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	484,485
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,213	831,131
資本勘定繰入	348,869	348,869
計	708,082	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9101.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)
				病院名	下田メディカルセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	8,632 m ²	指定病院の状況	救	感	輪
診療科数	16	看護配置	7	:	1
許可公営企業		経営形態	指定	管理者(利用料金制)	
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上	~	200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	140	66.6	60.4	60.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.3	0.1	-
計	144	64.8	58.8	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	9.9	9.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	363,614			
1 経常収益	363,614			
(1) 医業収益	69,960			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	69,960			
(うち他会計負担金)	69,960			
(2) 医業外収益	293,654			
(うち国・都道府県補助金)	2,345			
(うち他会計補助・負担金)	163,775			
(うち長期前受金戻入)	26,112			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	389,627			
2 経常費用	389,627			
(1) 医業費用	337,822			
職員給与費	18,069	25.8	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	196,729	281.2	9.0	10.2
経費	120,184	171.8	23.3	30.5
(うち委託料)	115,254	164.7	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	2,840	-	-	-
(2) 医業外費用	51,805			
(うち支払利息)	41,510	59.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-26,013			
純損益	-26,013			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.3		97.7	96.5
医業収支比率	20.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	64.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	334.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	64.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	33.3		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,866,815
1 固定資産	5,244,741
(1) 有形固定資産	5,096,496
(2) 無形固定資産	53,379
(3) 投資その他の資産	94,866
2 流動資産	622,074
(1) 現金及び預金	485,328
(2) 未収金及び未収収益	136,721
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,996,592
1 固定負債	2,504,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,504,949
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	299,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,075
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,323
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,949
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,274
(1) 長期前受金	1,351,168
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,158,894
資本合計	2,870,223
1 資本金	932,806
2 剰余金	1,937,417
(1) 資本剰余金	1,663,826
(2) 利益剰余金	273,591
負債・資本合計	5,866,815
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	134,223	233,735
資本勘定繰入	68,760	35,428
計	202,983	269,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団
				病院名	掛川市・袋井市病院企業団 立中東遠総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m ²	指定病院の状況	救臨感災地		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	496	83.6	87.5	90.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.7	18.0	7.1
計	500	83.0	86.9	89.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.0	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.6
修正医業収益(千円)	15,058,596

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,725,721			
1 経常収益	16,700,333			
(1) 医業収益	15,352,793			
入院収益	9,987,504			
外来収益	4,280,307			
診療収入計	14,267,811			
その他医業収益	1,084,982			
(うち他会計負担金)	294,197			
(2) 医業外収益	1,347,540			
(うち国・都道府県補助金)	33,186			
(うち他会計補助・負担金)	713,392			
(うち長期前受金戻入)	528,009			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,388			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,120,048			
2 経常費用	17,114,757			
(1) 医業費用	16,265,867			
職員給与費	9,227,430	60.1	55.7	49.1
材料費	3,542,688	23.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,584,855	10.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,954,081	12.7	11.0	12.7
減価償却費	1,114,133	7.3	9.0	8.4
経費	2,283,338	14.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,414,525	9.2	11.5	11.6
研究研修費	73,751			
資産減耗費	24,527			
(2) 医業外費用	848,890			
(うち支払利息)	231,870	1.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	5,291			
損益				
経常損益	-414,424			
純損益	-394,327			
累積欠損金	1,593,033			
経常収支比率	97.6		97.7	98.8
医業収支比率	94.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.7		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,416,483
1 固定資産	15,731,115
(1) 有形固定資産	14,383,059
(2) 無形固定資産	909,892
(3) 投資その他の資産	438,164
2 流動資産	4,685,368
(1) 現金及び預金	2,133,166
(2) 未収金及び未収収益	2,375,091
(3) 貸倒引当金()	97,780
(4) 貯蔵品	183,742
3 繰延資産	-
負債合計	20,633,755
1 固定負債	17,325,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,814,230
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,396,804
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,832,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	537,738
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,139,410
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	475,214
(1) 長期前受金	3,686,108
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,210,894
資本合計	-217,272
1 資本金	1,302,075
2 剰余金	-1,519,347
(1) 資本金剰余金	73,686
(2) 利益剰余金	-1,593,033
負債・資本合計	20,416,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	217,272
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	865,342	1,007,589
資本勘定繰入	718,521	718,521
計	1,583,863	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。